

(農) ファーム西能良のアスパラガス定植始まる

【平成 29 年 6 月 7 日 掲載】

東広島市豊栄町の(農)ファーム西能良(栗原信明(くりはらのぶあき)組合長, 構成員 24 名, 経営面積 24.2ha)は, 平成 28 年から約 10a の露地ほ場でアスパラガスを栽培しています。今年度新たに約 40a 拡大し, 5 月 31 日から定植が始まりました。

定植前に, 西部農業技術指導所から定植の手順やポイントを説明しました。組合員は, 苗を植える深さや株の向きを確認し合い, 丁寧に定植することができました。また, 昨年の定植の経験から農作業の負担軽減のために, 畝に板を敷いて足場を作るなどの工夫をしており, 定植作業は順調に進みました。

昨年定植したアスパラガスは, 順調に生育し, 4 月 16 日から春芽を初出荷しており, 「とよさか四季彩館」の直売コーナーで好評だったとのこと。今は夏芽の収穫に向けて, 株づくりの作業中です。

廣川善美(ひろかわよしみ)事務局長は, 「組合員みんなで栽培について声を掛け合い, 品質の良いアスパラガスが出荷できるように管理している。6 月中旬頃から, 夏芽の収穫が始まること, また, 来春は今春植えたアスパラガスも収穫することから, 組合員で計画的にローテーションを組み収穫していきたい。」と意気込みを語っています。



【定植のポイントを確認】



【板を敷いて定植作業の軽労化】

情報提供元

西部農業技術指導所